



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月28日

上場会社名 株式会社エイトレッド 上場取引所 東
 コード番号 3969 URL https://www.atled.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 新 祐介 TEL 03-3486-6312
 定時株主総会開催予定日 2026年6月18日 配当支払開始予定日 2026年6月4日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月18日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,902	4.9	1,049	△0.8	1,061	0.0	716	△1.7
2025年3月期	2,766	10.6	1,058	0.8	1,060	0.7	728	2.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	95.64	—	13.5	16.1	36.2
2025年3月期	97.28	—	15.1	17.7	38.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	6,909	5,610	80.1	739.04
2025年3月期	6,267	5,137	80.8	676.40

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,533百万円 2025年3月期 5,064百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,333	△2,484	△247	3,593
2025年3月期	1,148	△454	△217	4,991

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00	239	32.9	5.0
2026年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00	254	35.5	4.8
2027年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00		34.4	

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,554	10.6	522	8.1	522	7.1	349	8.1	46.61
通期	3,260	12.3	1,170	11.4	1,170	10.2	783	9.3	104.58

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	7,487,400株	2025年3月期	7,487,400株
2026年3月期	218株	2025年3月期	185株
2026年3月期	7,487,206株	2025年3月期	7,487,215株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4の「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(持分法損益等の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響や、金融資本市場の変動の影響、米国の通商政策の影響等による海外景気の下振れの懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社が属するIT業界は、ソフトウェア投資が増加しており、企業収益の改善等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されます。また、少子高齢化や労働人口の減少等を背景に、労働生産性の向上が課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要の高まりを受け、当社が展開するワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、Webを活用したセミナーの開催及び全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催、市場優位性を確保するための製品・サービスの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は29億2百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は10億49百万円(同0.8%減)、経常利益は10億61百万円(同0.0%増)、当期純利益は7億16百万円(同1.7%減)となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-p o i n tは、クラウドサービスへシフトしたこと等により売上高が減少いたしました。A g i l e W o r k sは、新規販売本数の減少により売上高が減少いたしました。その結果、当事業年度のX-p o i n t売上高は1億85百万円(同23.6%減)、A g i l e W o r k s売上高は10億49百万円(同9.7%減)となり、パッケージソフト全体の売上高は、12億35百万円(同12.1%減)となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及びDXの推進に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。また、パッケージソフトのX-p o i n tからのシフトも増加いたしました。その結果、当事業年度のクラウドサービス売上高は、16億67百万円(同22.5%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ5億6百万円増加し、59億42百万円となりました。これは、主に現金及び預金が24億7百万円減少したものの、有価証券が19億90百万円、預け金が10億9百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億35百万円増加し、9億66百万円となりました。これは、主にソフトウェアが1億57百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて6億41百万円増加し、69億9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ1億65百万円増加し、12億9百万円となりました。これは、主に契約負債が1億2百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2百万円増加し、89百万円となりました。これは、主に退職給付引当金が3百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億68百万円増加し、12億98百万円となりました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は56億10百万円となり、前事業年度末に比べ4億73百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が4億68百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して13億97百万円減少し、35億93百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、13億33百万円（前期は11億48百万円の獲得）となりました。これは、主に税引前当期純利益が10億68百万円、減価償却費が4億15百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、24億84百万円（前期は4億54百万円の使用）となりました。これは、主に有価証券の取得による支出が19億90百万円、無形固定資産の取得による支出が5億41百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億47百万円（前期は2億17百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払が2億47百万円あったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フロー指標の推移)

	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	80.8	80.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	171.0	150.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—

(注1) 各指標は、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注2) 有利子負債がないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、少子高齢化や労働人口の減少等を背景として、生産性向上に向けた企業のDX化が加速すること等により、引き続きワークフローシステムの需要が拡大することを想定しております。

このような中、当社はAIを活用した営業活動の効率化並びに既存パートナーとのパートナーリレーションの深耕及び新規販売パートナーの開拓等による販売体制の強化を積極的に図り、AI活用の基盤づくりを実現するワークフロー製品の開発等を行ってまいります。また、クラウドニーズの拡大による新規顧客獲得を積極的に行うとともに、Agileworksクラウド版の認知拡大を図り、クラウドサービスの更なる成長をさせること等により売上増を見込んでおります。

費用面につきましては、AI活用の基盤づくりを実現するワークフロー製品の開発をコンセプトとした製品機能強化のためのソフトウェア償却費の増加、クラウドサービスの拡大及び為替変動によるクラウドインフラ費用の増加等はあるものの、売上高の増加に伴う利益増が吸収し、利益増を想定しております。

クラウドサービスにおいては、X-pointからのクラウドシフトや、電子帳簿保存法への対応、Agileworksクラウド版の認知拡大、クラウドニーズの拡大による新規顧客獲得を積極的に行うことにより、売上増を見込んでおります。

また、費用面につきましては、売上拡大やサポート体制強化に伴う人員の増加や、製品機能強化のためのソフトウェア償却費の増加、クラウドサービス拡大に伴うクラウドインフラ費用の増加等はあるものの、売上高の拡大に伴う利益増が吸収し、利益は増益を想定しております。

次期の業績予想につきましては、売上高は32億60百万円（前期比12.3%増）、営業利益は11億70百万円（同11.4%増）、経常利益は11億70百万円（同10.2%増）、当期純利益は7億83百万円（同9.3%増）を計画しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,991,470	2,584,336
売掛金	281,554	270,058
電子記録債権	75,331	51,694
預け金	-	1,009,383
有価証券	-	1,990,819
前払費用	34,735	35,796
その他	52,842	350
流動資産合計	5,435,933	5,942,438
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	-	2,864
減価償却累計額	-	△175
建物附属設備 (純額)	-	2,688
工具、器具及び備品	17,893	19,105
減価償却累計額	△13,007	△15,624
工具、器具及び備品 (純額)	4,886	3,481
有形固定資産合計	4,886	6,169
無形固定資産		
ソフトウェア	711,161	868,510
ソフトウェア仮勘定	38,398	9,961
無形固定資産合計	749,559	878,471
投資その他の資産		
繰延税金資産	66,148	70,964
その他	11,057	11,186
投資その他の資産合計	77,206	82,151
固定資産合計	831,652	966,791
資産合計	6,267,586	6,909,230

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,289	32,874
未払金	100,646	99,355
未払費用	56,861	64,866
未払法人税等	158,530	208,981
預り金	3,534	3,842
契約負債	626,218	729,110
賞与引当金	67,029	70,371
流動負債合計	1,044,109	1,209,401
固定負債		
退職給付引当金	56,373	60,002
役員退職慰労引当金	30,035	29,131
固定負債合計	86,408	89,133
負債合計	1,130,517	1,298,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,916	621,916
資本剰余金		
資本準備金	621,916	621,916
資本剰余金合計	621,916	621,916
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,820,936	4,289,934
利益剰余金合計	3,820,936	4,289,934
自己株式	△397	△445
株主資本合計	5,064,370	5,533,321
新株予約権	72,698	77,373
純資産合計	5,137,068	5,610,694
負債純資産合計	6,267,586	6,909,230

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当事業年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
売上高	2,766,310	2,902,765
売上原価	925,599	1,039,682
売上総利益	1,840,710	1,863,082
販売費及び一般管理費	782,511	813,208
営業利益	1,058,199	1,049,873
営業外収益		
受取利息	2,668	10,451
その他	48	1,081
営業外収益合計	2,716	11,533
経常利益	1,060,916	1,061,407
特別利益		
新株予約権戻入益	-	6,767
特別利益合計	-	6,767
税引前当期純利益	1,060,916	1,068,174
法人税、住民税及び事業税	319,699	356,914
法人税等調整額	12,873	△4,815
法人税等合計	332,573	352,098
当期純利益	728,342	716,075

売上原価明細書

		前事業年度 (自 2024年 4 月 1 日 至 2025年 3 月 31 日)		当事業年度 (自 2025年 4 月 1 日 至 2026年 3 月 31 日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		299,338	21.7	388,699	24.6
II 外注加工費		340,162	24.7	346,766	22.0
III 経費	※1	737,384	53.6	843,148	53.4
当期総製造費用		1,376,884	100.0	1,578,614	100.0
他勘定振替高	※2	451,285		538,932	
売上原価		925,599		1,039,682	

(注) ※1 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年 4 月 1 日 至 2025年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 2025年 4 月 1 日 至 2026年 3 月 31 日)
減価償却費 (千円)	339,581	412,904
通信費 (千円)	330,747	352,669
地代家賃 (千円)	24,808	27,960

※2 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年 4 月 1 日 至 2025年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 2025年 4 月 1 日 至 2026年 3 月 31 日)
ソフトウェア (千円)	412,886	528,971
ソフトウェア仮勘定 (千円)	38,398	9,961

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)

(単位: 千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	621,916	621,916	621,916	3,309,722	3,309,722	△397	4,553,157	51,498	4,604,655
当期変動額									
剰余金の配当				△217,129	△217,129		△217,129		△217,129
当期純利益				728,342	728,342		728,342		728,342
自己株式の取得									-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)								21,200	21,200
当期変動額合計	-	-	-	511,213	511,213	-	511,213	21,200	532,413
当期末残高	621,916	621,916	621,916	3,820,936	3,820,936	△397	5,064,370	72,698	5,137,068

当事業年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)

(単位: 千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	621,916	621,916	621,916	3,820,936	3,820,936	△397	5,064,370	72,698	5,137,068
当期変動額									
剰余金の配当				△247,078	△247,078		△247,078		△247,078
当期純利益				716,075	716,075		716,075		716,075
自己株式の取得						△47	△47		△47
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)								4,675	4,675
当期変動額合計	-	-	-	468,997	468,997	△47	468,950	4,675	473,625
当期末残高	621,916	621,916	621,916	4,289,934	4,289,934	△445	5,533,321	77,373	5,610,694

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,060,916	1,068,174
減価償却費	376,434	415,213
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,348	3,342
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,646	3,629
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,100	△904
受取利息及び受取配当金	△2,668	△10,451
株式報酬費用	21,200	11,442
新株予約権戻入益	-	△6,767
売上債権の増減額 (△は増加)	5,119	35,132
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,264	1,584
契約負債の増減額 (△は減少)	71,828	102,892
未払金の増減額 (△は減少)	35,048	△1,361
その他	△24,504	10,474
小計	1,555,204	1,632,401
利息の受取額	2,668	10,248
法人税等の支払額	△363,293	△309,276
本社移転費用の支払額	△45,591	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,148,987	1,333,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,173	△4,075
無形固定資産の取得による支出	△451,285	△541,332
有価証券の取得による支出	-	△1,990,616
敷金の回収による収入	-	52,432
その他	-	△479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△454,458	△2,484,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△47
配当金の支払額	△217,076	△247,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,076	△247,053
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	477,452	△1,397,750
現金及び現金同等物の期首残高	4,514,017	4,991,470
現金及び現金同等物の期末残高	4,991,470	3,593,719

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
現金及び預金勘定	4,991,470千円	2,584,336千円
預け金勘定	-	1,009,383千円
現金及び現金同等物	4,991,470千円	3,593,719千円

(持分法損益等の注記)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当事業年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
1株当たり純資産額	676円40銭	739円4銭
1株当たり当期純利益金額	97円28銭	95円64銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 当事業年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有しないため記載を省略しております。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当事業年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額 (千円)	728,342	716,075
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	728,342	716,075
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,487,215	7,487,206
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	—
(うち新株予約権 (株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第2回新株予約権 (新株予約権の数430個) (新株予約権の目的となる株式の数43,000株) 第3回新株予約権 (新株予約権の数1,092個) (新株予約権の目的となる株式の数109,200株)	第2回新株予約権 (新株予約権の数395個) (新株予約権の目的となる株式の数39,500株) 第3回新株予約権 (新株予約権の数992個) (新株予約権の目的となる株式の数99,200株)

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。